

2. 火山の概況 (平成 15 年 10 月 16 日 ~ 平成 15 年 10 月 22 日)

樽前山では山頂部浅部の熱的な活動がやや活発であった。浅間山では地震がやや多い状態が続いた。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島では噴火が発生した。

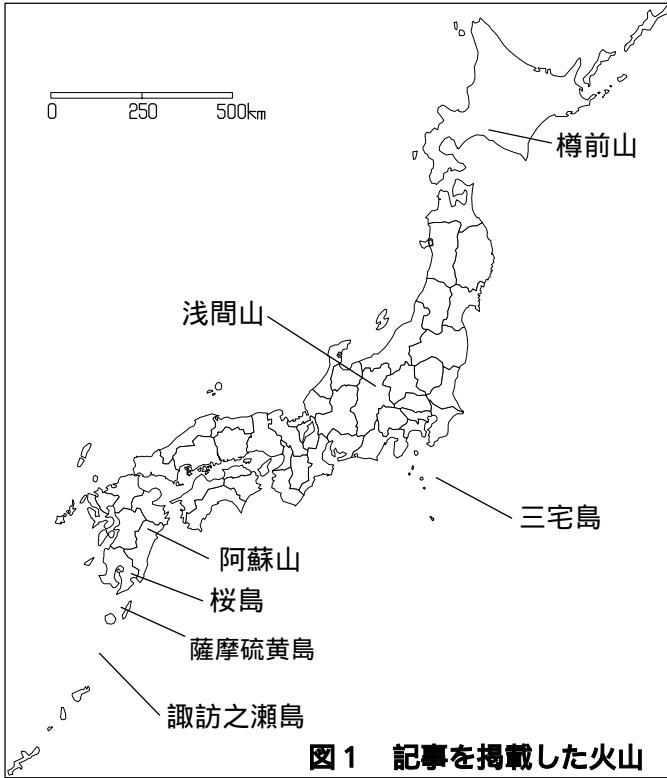


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	樽前山	浅間山	富士山	伊豆大島	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
43	10/16-10/22									
42	10/ 9-10/15									
41	10/ 2-10/ 8									
40	9/25-10/ 1									
39	9/18- 9/24									

注 1 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

樽前山 [熱]

今月 5 日以降時折観測されるようになった高感度カメラによりドーム南西噴気孔群 (B 噴気孔群) が明るく見える現象が、16~18 日の夜間にも観測されたことから、B 噴気孔群周辺が引き続き高温状態にあると考えられる。

なお、地震活動及び地殻変動には異常な変化はなかった。

浅間山 [地震・微動・熱]

6 月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が継続しており、16 日には 1 日当たり 100 回観測された(日回数が 100 回を超えるのは昨年 9 月 19 日以来)。その後は、1 日当たり 41~62 回であった。また、振幅の小さい微動は 21 日、22 日に各 1 回、計 2 回観測された (前期間も 2 回)。

噴煙の状況は、16 日に白色噴煙が火口縁上 500m まで上がっているのが山麓の監視カメラで観測された。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラ及び高感度カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測された。

三宅島 [火山ガス・地震・噴煙]

21 日に気象庁が行った火山ガス観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量 6,100~9,100 トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった (図 2)。また、同時に気象庁と大学合同観測班が行った上空からの観測¹⁾では、火山ガスを含む青白い噴煙が南西山麓を流下していた。山体の地形や火口の状況等に大きな変化はなかった。赤外カメラによる観測では、火口内の最高温度は 190 で

あった（前回（15日）220 ）。

振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、1日あたり11～23回と落ち着いた状態で推移した。低周波地震は観測されなかった（前期間3回）。

噴煙の状況は山頂部が雲に覆われてほとんど観測できなかったが、白色噴煙が最高で火口縁上1,000m（16日）まで上がるのが監視カメラで観測された。

GPSによる地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

1) 東京消防庁の協力による

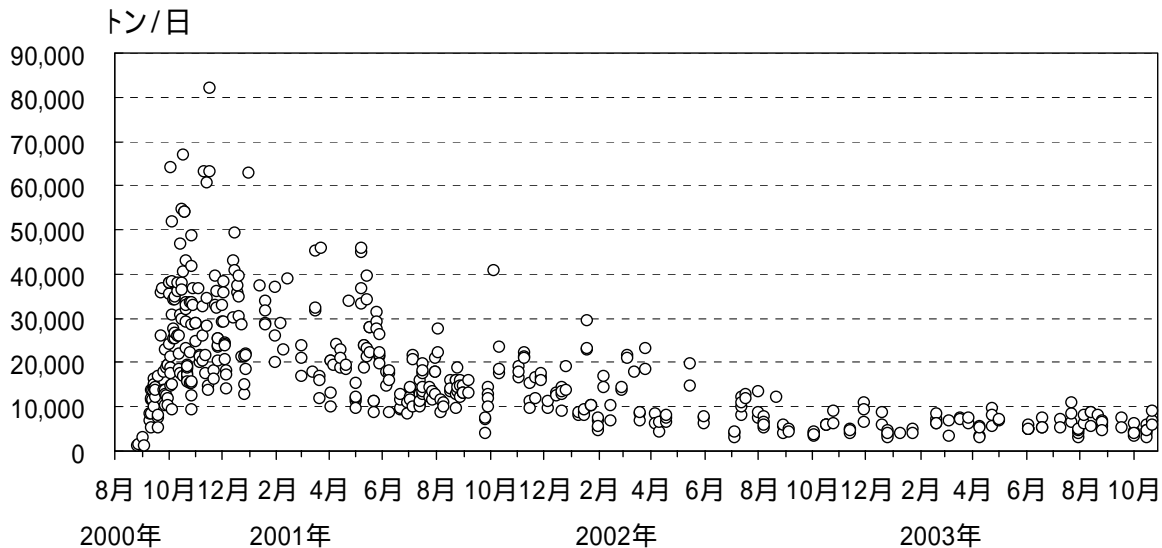


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移（2000年8月26日～2003年10月21日）

阿蘇山 [熱・地震・微動]

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、孤立型微動と地震がやや多い状態で推移した。

中岳第一火口内の状況は、17日、20～22日に実施した現地観測によると、湯だまりの色は緑色で、茶色の浮遊物があり、中央部の2か所で噴湯現象が確認された。湯量は約6割で減少傾向が続いている。湯だまり表面の温度の最高は81と依然高い状態が続いている（前回の観測時（10日）は80）。南側火口壁の温度も366と高い状態であった（前回の観測時は395）。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上600mであった（前期間の最高は火口縁上500m）。

孤立型微動は、今期間の発生回数が1,201回で、前期間（1,037回）と比べてやや増加した。B型地震については、今期間の発生回数は351回で、前期間（414回）よりやや減少した。A型地震の回数、地殻変動等の観測データには特に変化はなかった。

桜島 [爆発・降灰]

期間中、1回の噴火があり、爆発であった（前期間も噴火1回（爆発））。今期間の噴煙の最高高度は1,200m（灰白色）であった。

鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）では、今期間は降灰は観測されなかった（前期間の降灰日数は1日、降灰量は0.5g/m²未満）。

薩摩硫黄島 [降灰・微動]

三島村役場硫黄島出張所によると、19日、20日に島内の集落（硫黄岳の西約3km）で降灰を確認した。

また、14～16日にかけて連続微動を観測した。

諏訪之瀬島 [噴煙・微動]

今期間は爆発は発生しなかった。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、21日10時30分頃に火山灰を含む噴煙が上がったが、島内の集落（御岳の南南西約4km）で降灰は確認されなかった。

また、連続微動が22日に発生した。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第574号 (1日2回発表)	16日09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第587号	22日16:30	
阿蘇山	火山観測情報第22号	17日11:50	火山活動がやや活発(孤立型微動・地震が引き続き多い状態)。